

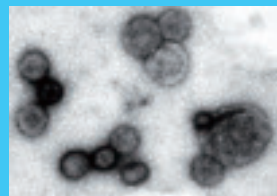
新型インフルエンザ



編集・発行 栃木県

保健福祉部健康増進課 平成21年3月29日発行

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-3086 FAX 028-623-3920
e-mail kenko-zoshin@pref.tochigi.lg.jp



写真提供
国立感染症研究所

新型インフルエンザウイルスの出現と、それによる世界的大流行が危惧されています。

政府や地方自治体では、新型インフルエンザへの備えを進めています。わたしたち一人ひとりの取組も大変重要で、いざというときに適切な行動をとるために、日頃からの心がまえと準備が大切です。

この資料は、新型インフルエンザ及びその対策の概要を県民の皆さまにご理解いただくために作成したものです。ユニーク、ご活用ください。

新型インフルエンザとは何か？

新型インフルエンザは、新しいタイプのインフルエンザウイルスによって起きる疾患です。新型インフルエンザウイルスはまだ発生していませんから、このウイルスに対する免疫を持っている人は誰もいません。このため、ひとたび発生すると容易に感染が拡大し、世界的大流行（パンデミック）を引き起こす危険性があるほか、それに伴う重症者や死亡者の増加も予想され、我が国でも、17万人から64万人が死亡するものと推定されています。

わたしたちのまわりで毎年流行がみられる通常のインフルエンザは、インフルエンザウイルスが人に感染することによって起きる疾患で、そのウイルスはA／香港型(H3N2)、A／ソ連型(H1N1)、B型の3種類に分けられます。しかし、これらのウイルスに

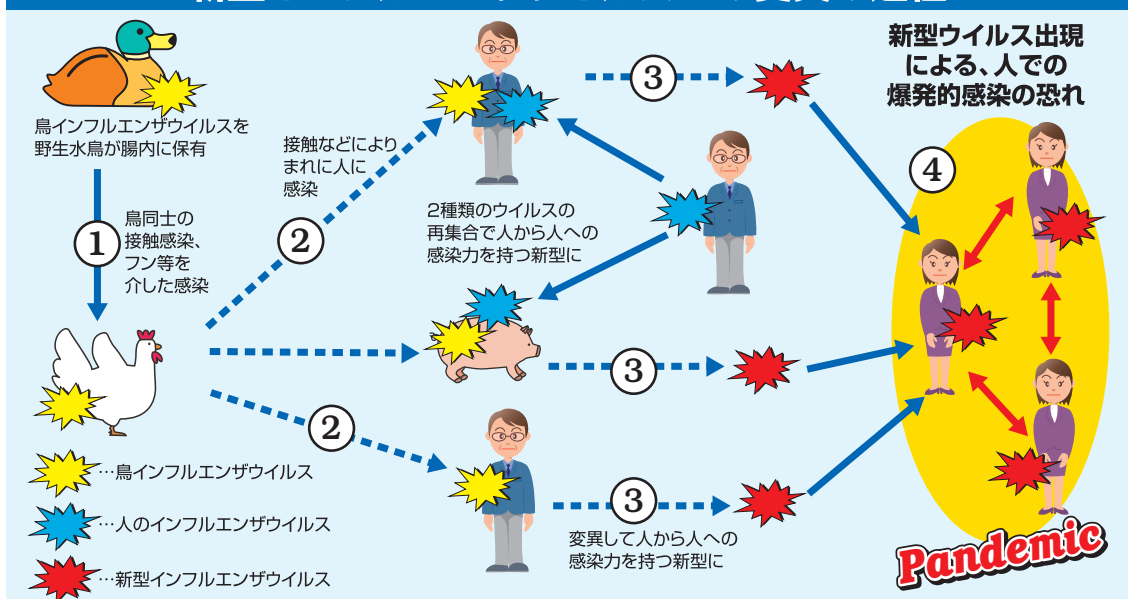
はワクチンがあり、また、わたしたちの多くは免疫を持っています。ですから、お年寄りや、肺や気管支、心臓などに持病のある方などを除いて、感染による致死率は0.1%以下とされています。

これに対して新型インフルエンザは、おもに鳥類の間でしか感染しなかったインフルエンザウイルス（鳥インフルエンザウイルス）が、人から人へと容易に感染できるようなウイルスに変化して起こる疾病です。

新型インフルエンザウイルスは人間にとって初めてのウイルスです。そのため、ひとたび発生すると世界中に感染が拡大する危険性があるほか、それによって、重症者や死亡者が増えることが予想され、政府は、新型インフルエンザによる死亡者数を17万人から64万人と試算しています。また、県でも、県内の死亡者数を1千6百人から9千4百人と試算しています。

現在のところ、新型インフルエンザウイルスの発生は確認されていませんが、近年、インド

新型インフルエンザウイルスへの変異の過程



ネシアやベトナム、中国をはじめとする国々で、H5N1と呼ばれる鳥インフルエンザウイルスが人に感染し、感染した方が多くが亡くなるという事例が相次いでいます。普段は人に感染することのない鳥インフルエンザウイルスが、たまたま人に感染してしまった不幸な事例ですが、専門家の間では、このウイルスが新型インフルエンザウイルスに変化するのではないかと指摘されています。